

日 時：平成 29 年 7 月 19 日（水）18：30～20：50

場 所：八幡コミュニティセンター

【 当 日 の 内 容 】

- | | |
|-------------|--|
| 18：30 | 開会 |
| 18：30～18：35 | 主催者挨拶 （石狩市 総務部／及川 浩史 部長） |
| 18：35～19：00 | 策定会議の目的と進め方 （事務局／(株)ドーコン） <ul style="list-style-type: none">・ 本日の流れ・ 地区防災ガイドの振り返り・ 災害情報の説明・ 地区防災ガイドの見直し方針・ 策定会議の進め方 |
| 19：00～20：30 | グループ別意見交換 <ul style="list-style-type: none">①避難ルートについて②防災の心得について |
| 20：30～20：50 | グループ別意見の発表 |
| 20：50 | 閉会 |

A グループ（生振）

○意見概要

【避難ルートについて】

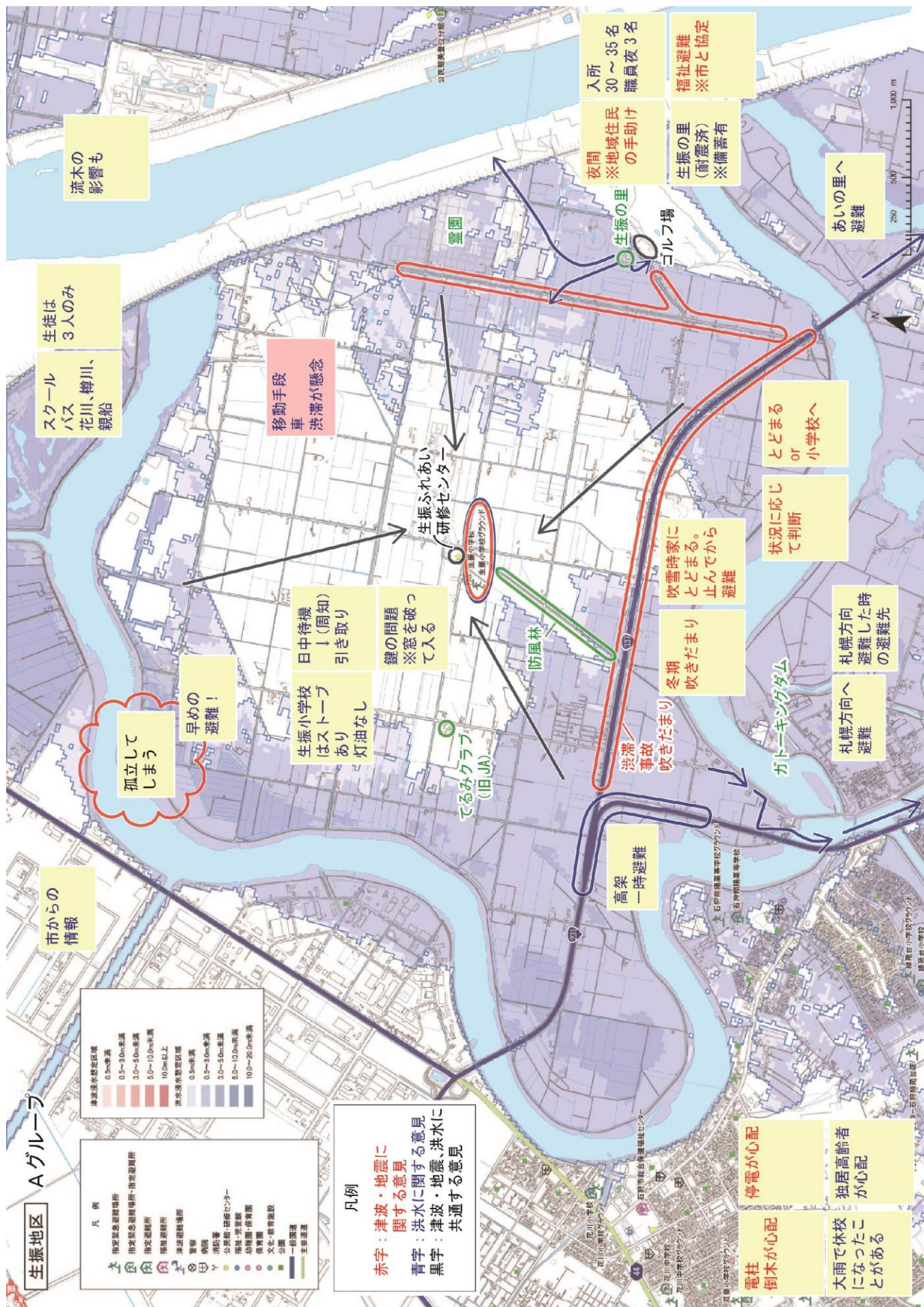
- ・洪水の場合、生振地区は真敷別川に囲まれているため、孤立する恐れがある。そのため、生振中心部に集まるとよいのではないかと。その際、生振小学校や生振ふれあい研修センターが避難先候補となり得る。
- ・また、高齢者等が入所している生振の里の避難先候補として、近傍のゴルフ場が考えられる。
- ・真敷別川周辺の住民は、生振地区の外に逃げることも考えられるが、早めの避難が重要である。
- ・地震の避難先は、洪水の場合と同様であるが、市との協定で福祉避難所に指定されている生振の里（耐震化済）も避難先候補となり得る。
- ・冬季は国道 337 号や道道が雪で吹き溜まりになりやすいことから、避難の際は注意が必要である。具体的には、吹雪が止むまで自宅に留まり、その後、避難するとよいのではないかと。
- ・風が強い場所や倒木の恐れのある場所等を平時から確認する必要がある。

【防災の心得について】

- ・災害種別を踏まえた整理が必要ではないかと。
- ・避難所に鍵がかかっている際は、窓を蹴破ってでも入るとよいのではないかと。
- ・駐車場の運営等は先に避難した人が協力して行うとよい。
- ・地域住民による手助けが重要である。
- ・避難所運営ゲーム「Do はぐ」等により、様々な状況を想定して、協力体制を築く必要がある。



○避難ルートに関する意見



○避難ルートに関する意見交換結果(全意見)

【洪水】

- ・ 早目の避難！
- ・ 市からの情報
- ・ 流木の影響も
- ・ スクールバス花川樽川親船
- ・ 生徒は3人のみ
- ・ 独居高齢者
- ・ 大雨（休校）
- ・ 入所 30～35 名 職員夜 3 名
- ・ 移動手段車渋滞
- ・ ゴルフ場
- ・ 生振の里（耐震済）※備蓄有
- ・ 孤立してしまう
- ・ 生振小学校
- ・ 日中待機（周知）引き取り
- ・ でるみクラブ（旧 J A）
- ・ 高架一時避難
- ・ 鍵の問題※窓を破って入る
- ・ 札幌方向へ避難
- ・ 札幌方向避難した時の避難先
- ・ あいの里へ避難

【地震・津波】

- ・ ストープ有灯油なし
- ・ 冬期吹きだまり
- ・ 吹雪時家にとどまる。止んでから避難
- ・ 移動手段車、渋滞
- ・ 状況に応じて判断
- ・ とどまる or 小学校へ
- ・ 夜間※地域住民の手助け
- ・ 福祉避難※市と協定
- ・ 停電
- ・ 地震⑤自動参集道路心配
- ・ 電柱倒木・渋滞事故吹きだまり

○防災の心得に関する意見交換結果(全意見)

【共通】

- ・ 災害種別を踏まえて整理
- ・ 地震→吹雪を考慮（吹きだまり）
- ・ 洪水→早めの避難・判断

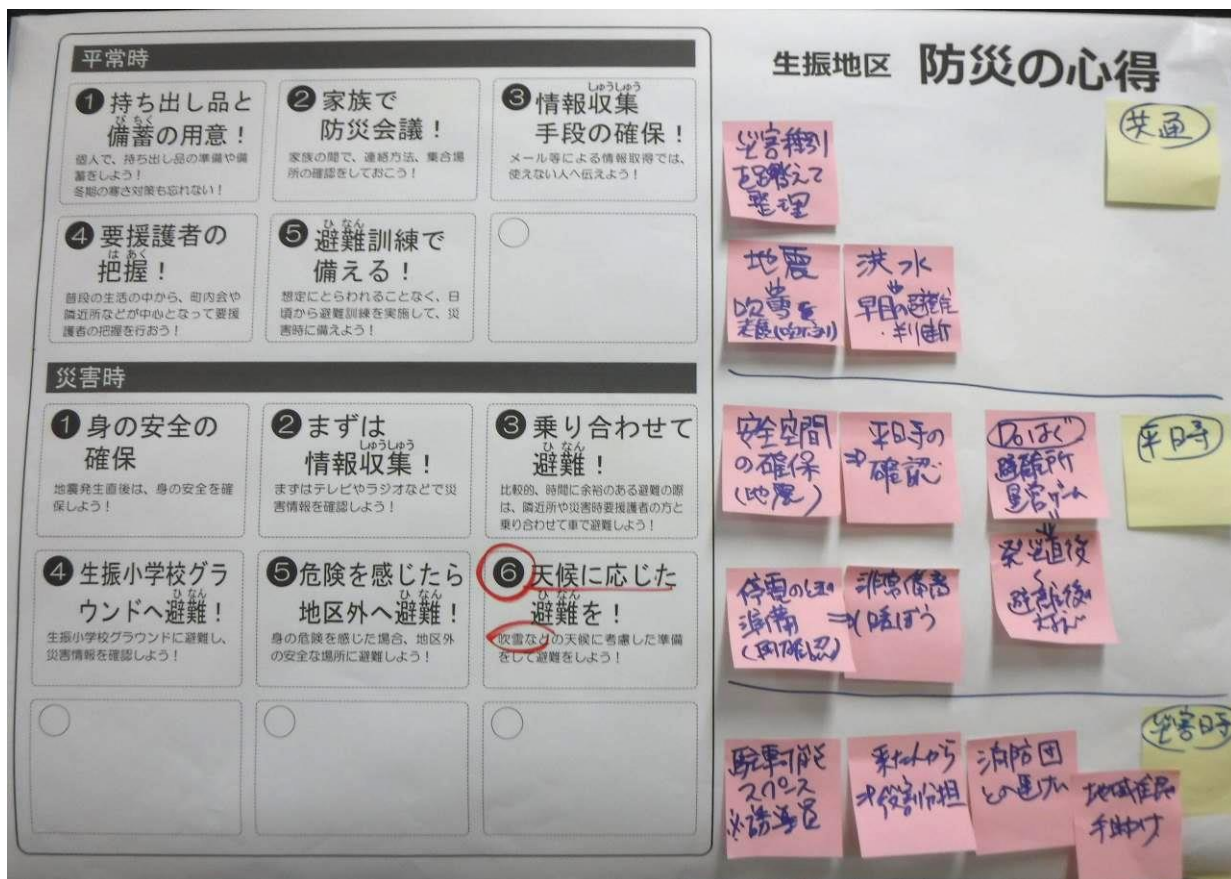
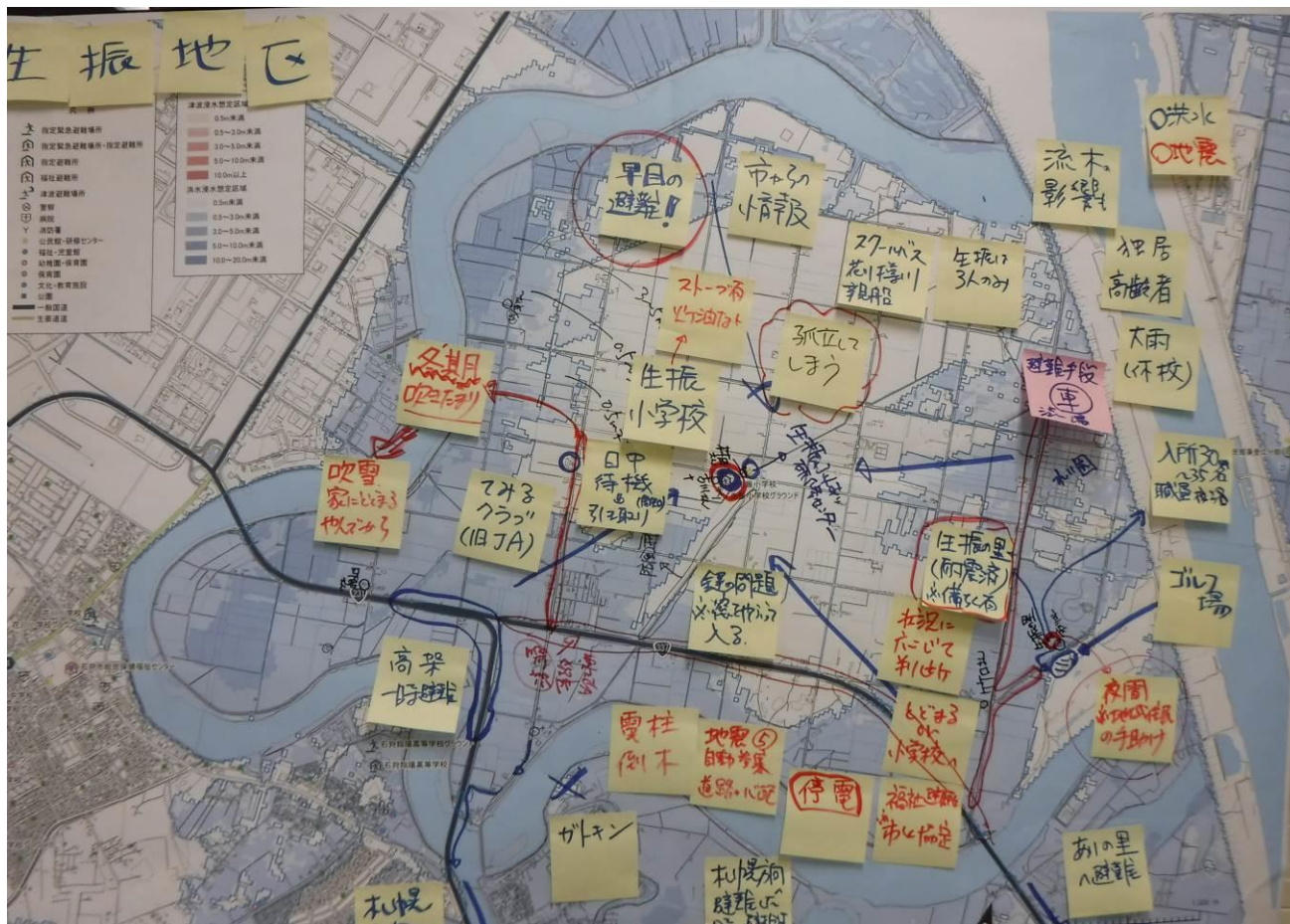
【平時】

- ・ 安全空間の確保（地震）
- ・ 平時の確保
- ・ 停電の時の準備（再確認）
- ・ 非常備蓄（暖房）
- ・ Do はぐ避難所運営ゲーム
- ・ 発生直後～避難後対応

【災害時】

- ・ 駐車可能スペース※誘導員
- ・ 来た人から役割分担
- ・ 消防団との連携
- ・ 地域住民手助け

○当日の写真



Bグループ（右岸）

○意見概要

【避難ルートについて】

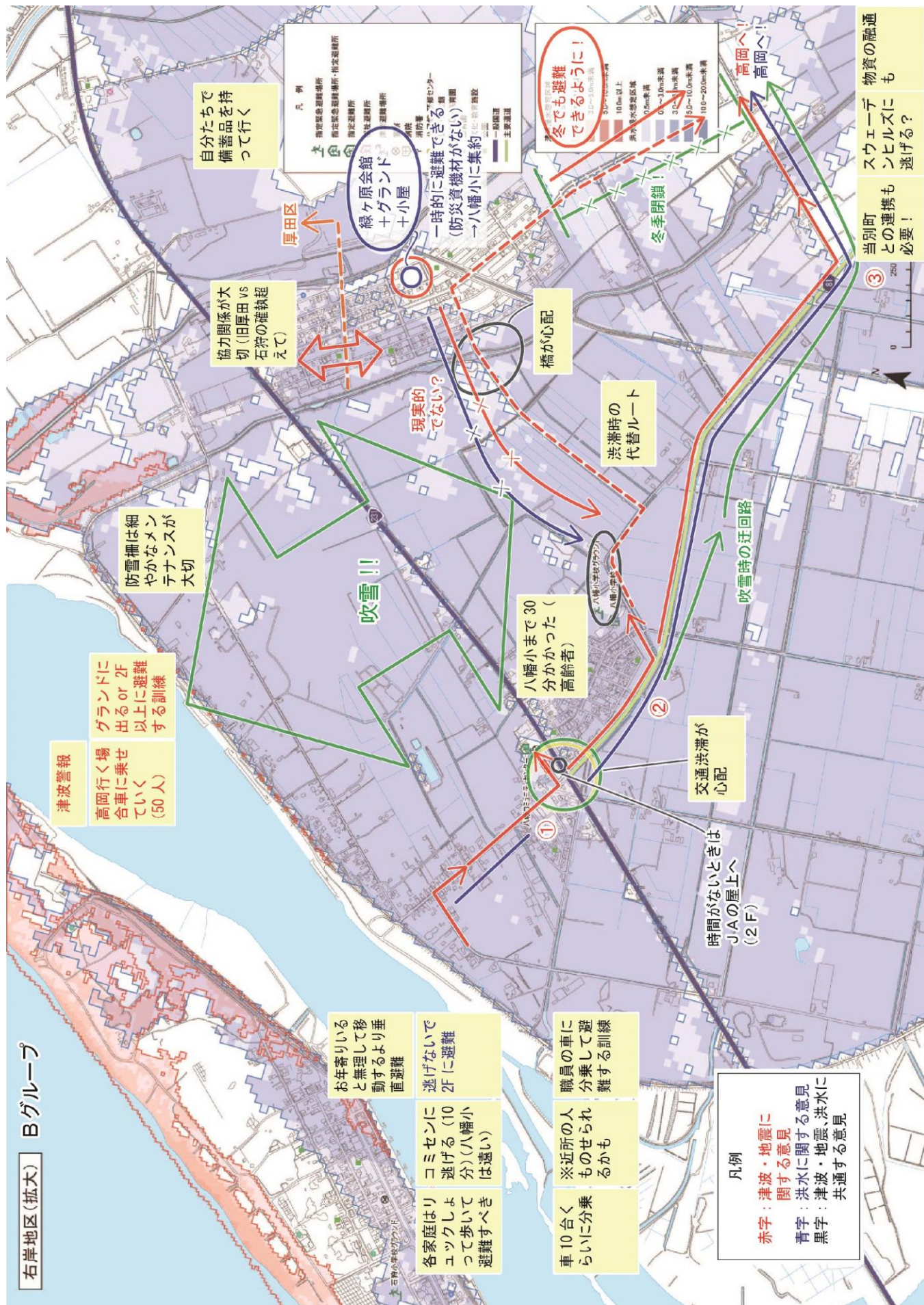
- ・洪水時：浸水域にかかってない緑ヶ原から浸水域にかかっている八幡小学校に避難するのは不安である。基本的に浸水域がかかってない緑ヶ原会館に避難するとよいのではないか。防災用具・備蓄品等を緑ヶ原会館に備えるとよいのではないか。
- ・冬季には吹雪による通行止めの心配がある。緑ヶ原から高岡への道は冬季閉鎖となる。冬季でも高台に避難できるようにすべきではないか。
- ・保育園では、職員の車に子ども達を分乗させて避難する訓練を行っているが、災害時は国道 231 号線の渋滞によって横断が難しくなることが懸念される。
- ・隣接する札幌市や当別町との連携を図り、物資の融通・避難等を行えばよい。

【防災の心得について】

- ・備蓄品には、緊急医療セットや防寒具をいれる必要がある。また、賞味期限が切れる備蓄品の更新にあわせて、避難訓練をするとよいのではないか。
- ・天候に応じた避難を行う必要があり、早めの避難を心がけることが重要。



○避難ルートに関する意見



○避難ルートに関する意見交換結果(全意見)

【洪水】

- ・逃げないで 2F に避難洪水
- ・緑ヶ原会館＋グラウンド＋小屋
- ・一時的に避難できる（防災資機材がない→八幡小に集約）

【津波】

- ・津波警報
- ・高岡行く場合車に乗せていく（50 人）
- ・グラウンドに出る or 2F 以上に避難する訓練

【その他】

- ・各家庭はリュックしょって歩いて避難すべき
- ・コミセンに逃げる（10 分）（八幡小は遠い）
- ・お年寄りいると無理して移動するより垂直避難
- ・※近所の人ものせられるかも
- ・車 10 台くらいに分乗
- ・職員の車に分乗して避難する訓練
- ・時間がないときは J A の屋上へ（2 F ?）
- ・交通渋滞が心配
- ・吹雪時の迂回路
- ・吹雪！！
- ・防雪柵は細やかなメンテナンスが大切
- ・協力関係が大切（旧厚田 vs 石狩の確執超えて）
- ・自分たちで備蓄品を持って行く
- ・八幡小まで 30 分かかった（高齢者）
- ・現実的でない？
- ・渋滞時の代替ルート
- ・橋が心配
- ・冬季閉鎖！
- ・厚田区
- ・高岡へ！
- ・当別町との連携も必要！
- ・スウェーデンヒルズに逃げる？
- ・物資の融通も

○防災の心得に関する意見交換結果(全意見)

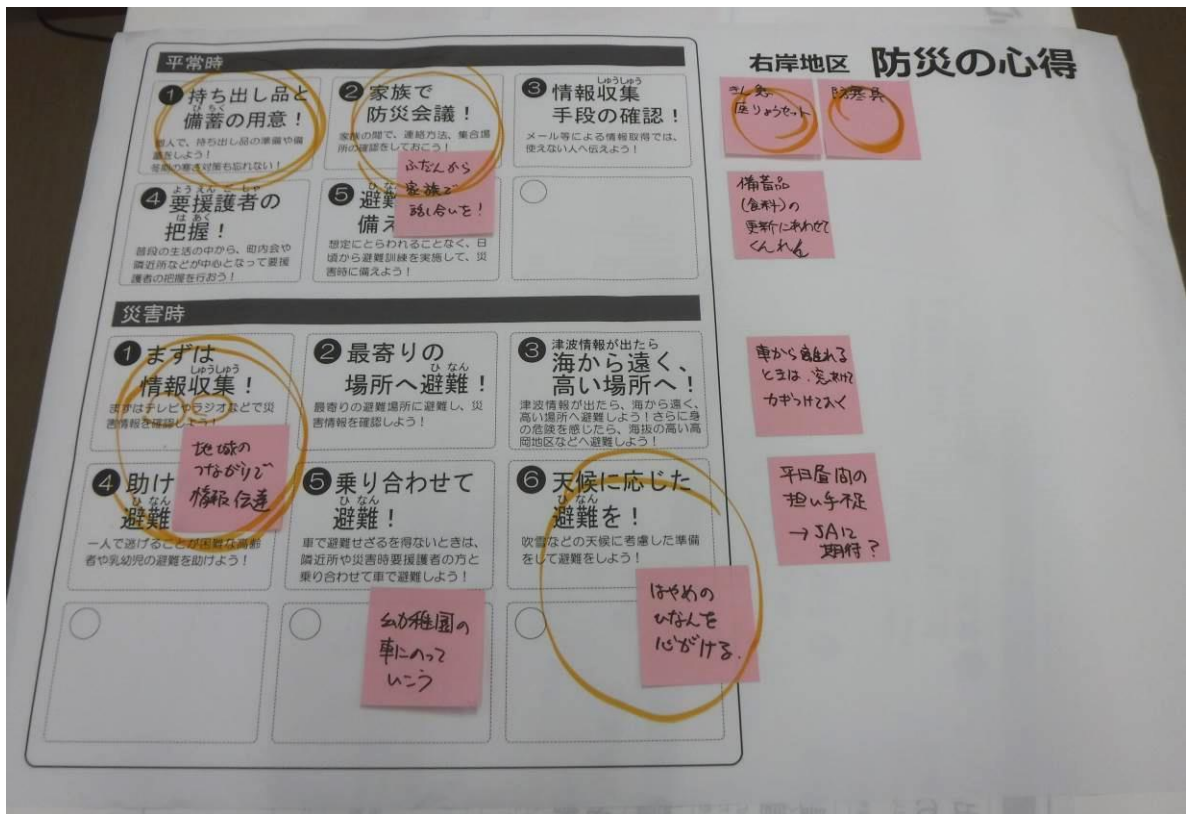
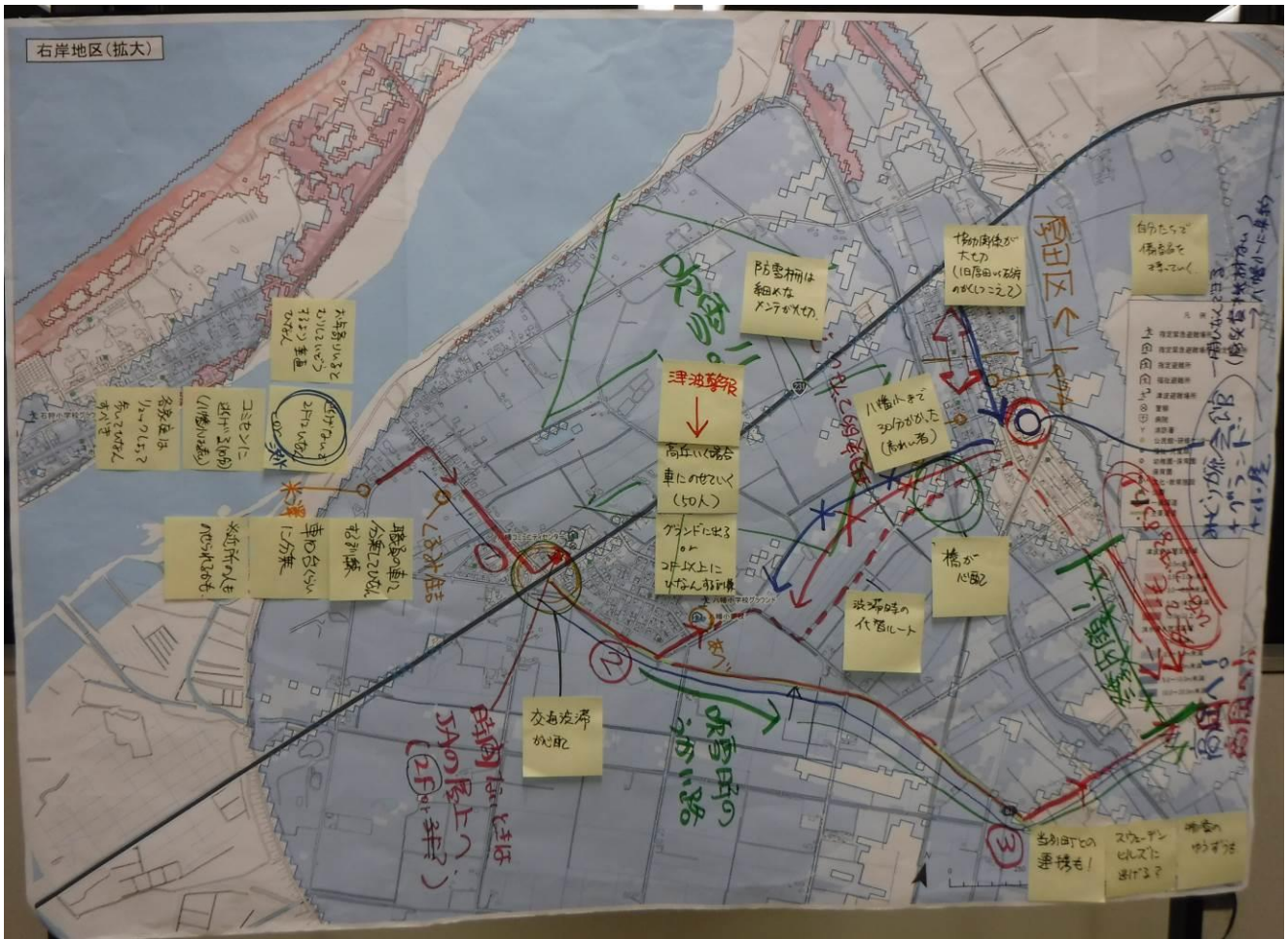
【平常時】

- ・緊急医療セット
- ・防寒具
- ・普段から家族で話し合いを！
- ・備蓄品（食料）の更新に合わせて訓練

【災害時】

- ・車から離れるときは、窓あけてカギつけておく
- ・平日昼間の担い手不足→J A に期待？
- ・地域のつながりで情報伝達
- ・幼稚園の車に乗っていこう
- ・早めの避難を心がける

○当日の写真



Cグループ（本町）

【避難ルートについて】

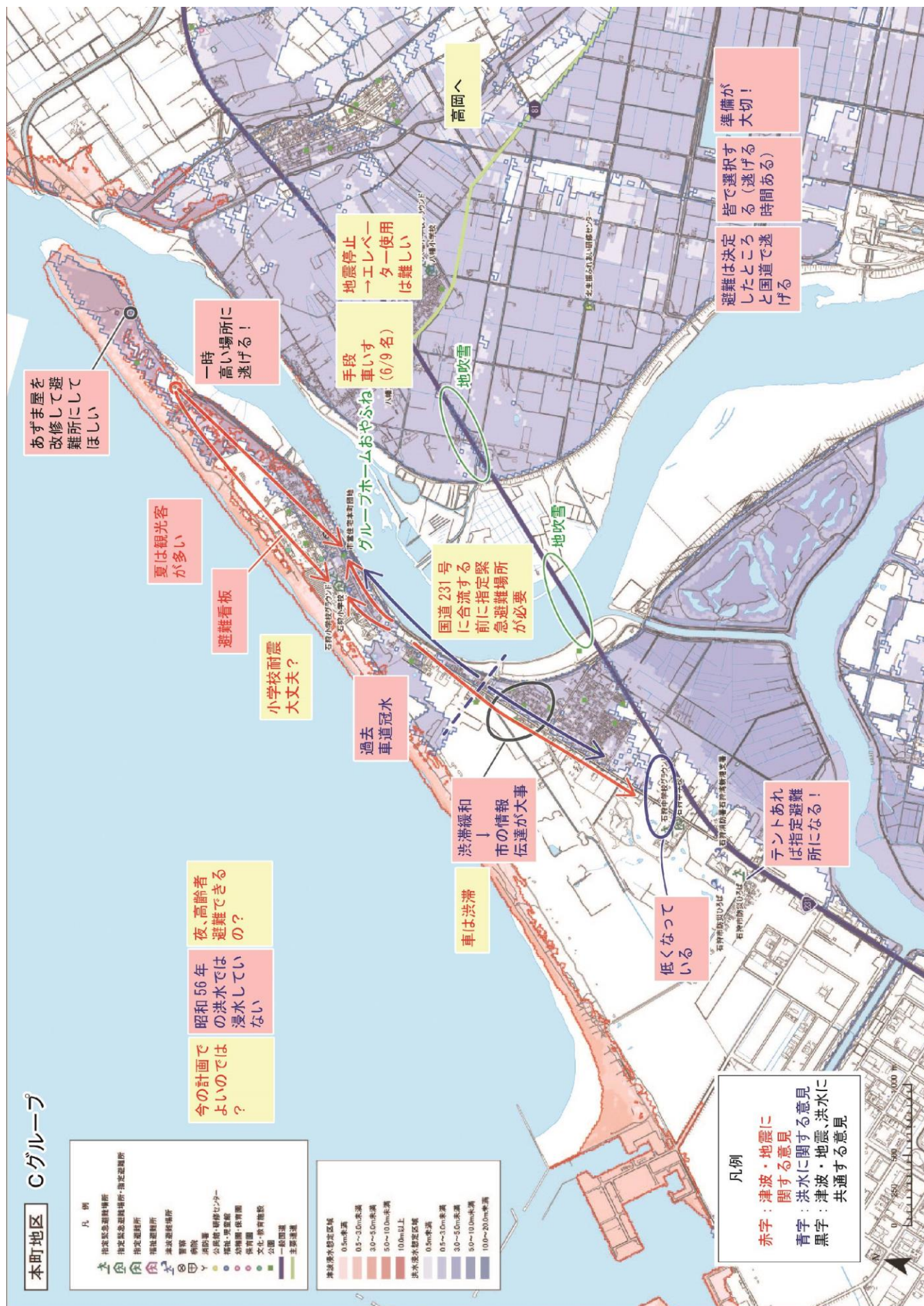
- 横町等海岸部の住民は石狩小学校や市営住宅本町団地に避難し、親船等の住民は石狩中学校に避難するとよいのではないか。
- 国道 231 号線や道道の渋滞が懸念されるので、横町から国道 231 号線へ抜ける前に指定緊急避難場所があると、渋滞が緩和されるのではないか。
- 夏季にはあそびーちに来ている観光客の避難により、住民が避難所に入りきらないのではないかと不安を抱いている。
- はまなすの丘公園では自然体験を多く行っているが、避難できる場所がない。あずま屋を改修して避難所にする方策や、高くなっている場所を把握して周知する等の対応があり得る。

【防災の心得について】

- 地吹雪の際は孤立してしまう恐れがあるため、無線訓練を行う等、平常時から情報の伝え方を検討しておく必要がある。
- グループホーム等福祉施設は地域と協定を結び、助け合って避難するのがよいのではないか。
- 冬季における要支援者の避難の際は、ソリが役立つため、備蓄するとよいのではないか。また、シートもソリの代替となり得るため、住民が持ち寄るとよいのではないか。



○避難ルートに関する意見



○避難ルートに関する意見交換結果(全意見)

【地震・津波】

- ・夜、高齢者→避難できるの？
- ・避難看板
- ・観光客
- ・小学校耐震大丈夫？
- ・今の計画でよいのでは？
- ・国道にぶつかる前に指定緊急避難場所
- ・地震停止→エレベーター難
- ・手段車いす（6/9名）
- ・車は渋滞

【洪水】

- ・地形の弱点→本町
- ・一時高い場所に逃げる！
- ・あずま屋を改修して避難所にしてほしい
- ・高岡へ
- ・S56年の洪水→浸かってない
- ・渋滞緩和→市の情報伝達
- ・テントとかあれば指定避難所になる！
- ・準備が大切！
- ・皆で避難（逃げる時間ある）
- ・地吹雪
- ・低くなっている
- ・避難は決定したところと国道で逃げる
- ・過去車道冠水

○防災の心得に関する意見交換結果(全意見)

1. 観光客の避難について

- ・高齢者、海水浴観光客 etc、に対応した地域のあり方
- ・災害時の観光客への誘導
- ・災害時の避難場所での観光客との運営
- ・地域では難しい？→市で対応してほしい
- ・マニュアルが必要
- ・地域とは別。公助で対応すべき？

2. グループホームについて

- ・グループホーム→福祉施設？（津波では逃げなきゃ）
- ・地域との協定を結ぶとよいかもしれない

3. 情報について

- ・地吹雪怖い
- ・孤立
- ・情報の伝え方
- ・無線訓練

4. 情報の収集手段の確認、要支援者の把握！

- ・よく話す！
- ・早めの連絡による早めの判断
- ・普段づきあい

5. 乗り合わせて避難！

- ・ルールを決める！（誰を乗せるか？）
- ・発災時地区にいなかったら？→まずは意識の問題

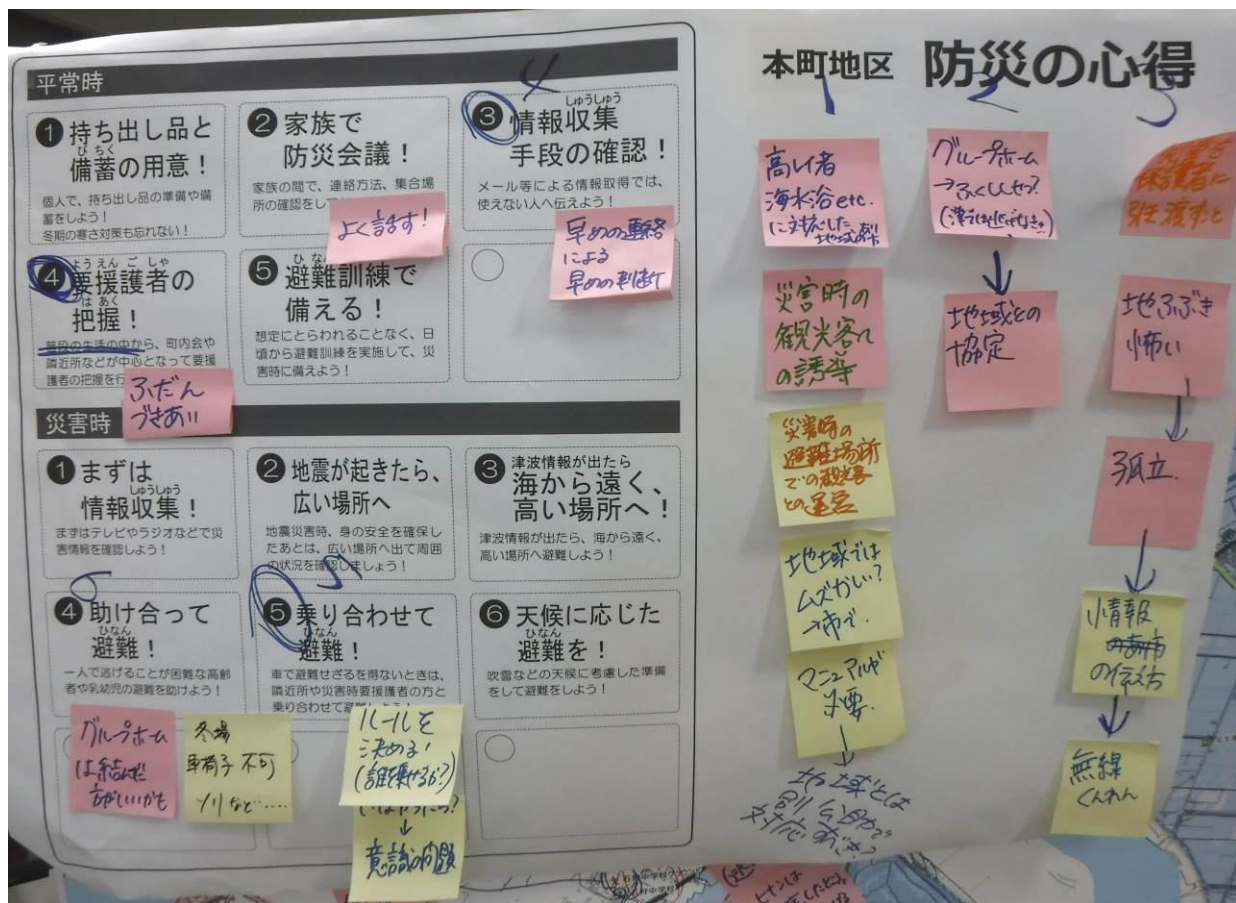
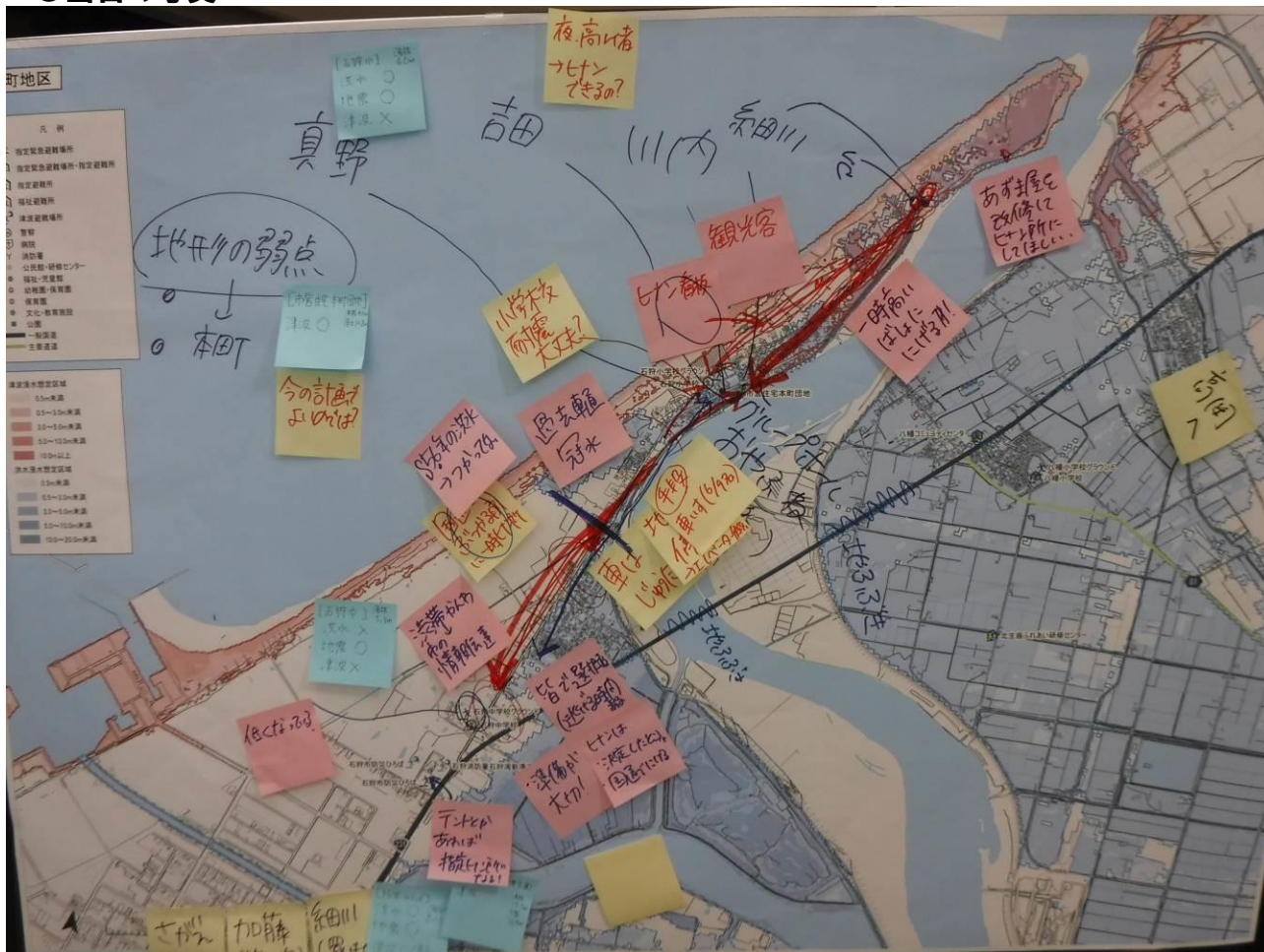
6. 助け合って避難！

- ・グループホームは結んだ方がいいかも
- ・冬場車いす不可。ソリなど…

その他

- ・児童を保護者に引き渡すことが不安

○当日の写真



D グループ（本町）

○意見概要

【避難ルートについて】

- 道道を使って、石狩中学校に避難するとよいのではないか。
- 高齢者が多いため、車避難が基本となる。その際、駐車場への誘導等、避難所運営が重要となるのではないか。
- 道道の渋滞が心配である。渋滞を緩和するため、乗り合わせのルールを決めたいが、町内会に加入していない人もいるのが課題である。

【防災の心得について】

- 避難訓練が重要だが、参加率が低い状況にある。そのため、情報共有をよく行うとともに、普段からの近所づきあいが大切なのではないか。
- 避難のタイミングが難しいため、情報取得手段を把握し、訓練する必要がある。しかし、防災無線が聞こえづらいため、高齢者が情報を得にくい状況にある。



○避難ルートに関する意見



○避難ルートに関する意見交換結果(全意見)

- ・洪水の避難所①石狩中学校②石狩消防署③防災広場
- ・渋滞が心配
- ・駐車場への誘導
- ・避難する人はどうするか？
- ・どうやって乗り合わせる？
- ・乗り合わせて避難
- ・車の乗り合わせの避難は？
- ・車の駐車スペースは充分
- ・町内会に入っていない人がいる
- ・高齢者の施設！
- ・地震・津波の避難所①石狩中学校②石狩消防署③防災広場
- ・車で避難
- ・個人情報の関係でわからない…
- ・要支援者の公表は？
- ・車での避難
- ・個人情報
- ・要支援者の対応は→個人情報の問題

○防災の心得に関する意見交換結果(全意見)

【要支援者の検討!と対策】

- ・要支援者情報を条件付きで出す
- ・助け合って避難
- ・日頃から顔見知りになるとか大事
- ・情報に応じた適切な行動

【避難訓練で備える!】

- ・中学生が活躍！
- ・サラリーマン 高齢化が進行
- ・危機感がない！

【家族で防災会議!】

- ・避難のタイミングが難しい！
- ・情報取得の練習
- ・防災無線が聞こえない
- ・高齢者への情報伝達が課題

○当日の写真

